

2021年  
4-6月期

## 県内景況・確報

◎概況 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

●2021年4-6月期 おきぎん「カトレア」景況図●

## 県内景況



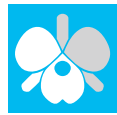
やや悪い

## 個人消費



やや悪い

## 建設関連



ふつう

## 観光関連



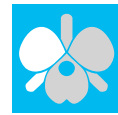
悪い

## 企業倒産



やや良い

## 雇用状況



やや悪い

2021年4-6月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を下回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同期を下回りました。新車販売台数も、前年同期を下回りました。

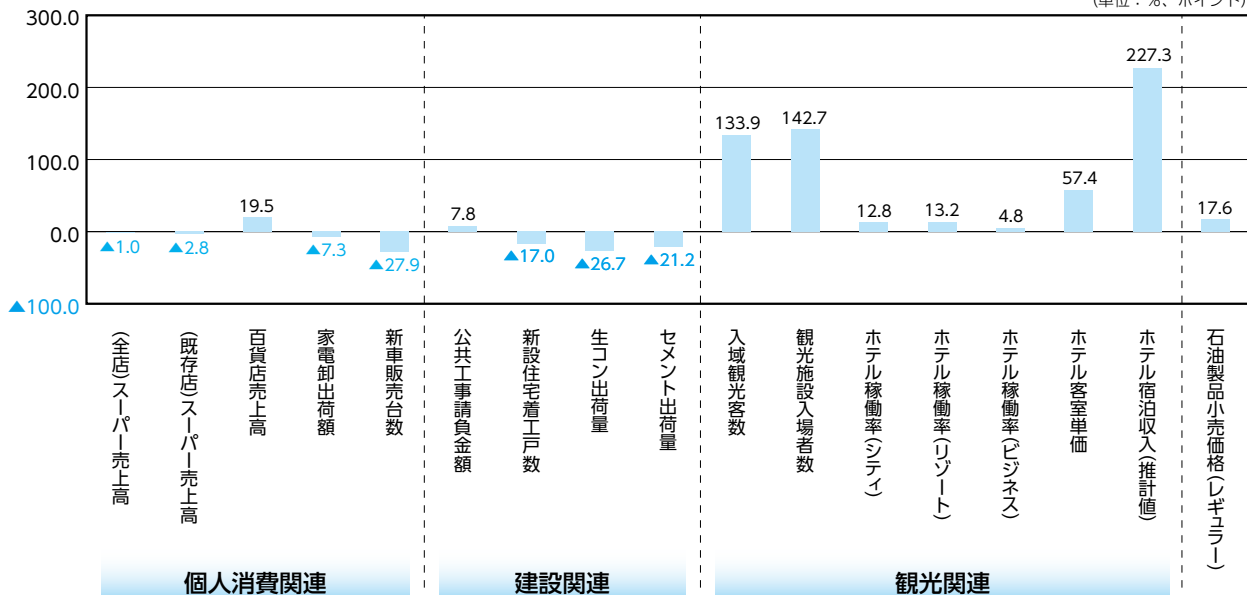
**建設関連**では、公共工事請負金額は、国などの発注工事の増加等により前年同期を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同期を下回りました。

**観光関連**では、入域観光客数は前年の国の緊急事態宣言の実施に伴う反動増等から前年同期を上回りました。観光施設入場者数も同様に前年の施設の休業（休館）体制の反動増等から前年同期を上回りました。ホテル稼働率についてはシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を上回りました。ホテル客室単価・宿泊収入（推計値）もともに前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連では弱い動きが続いており、個人消費及び観光関連では、緊急事態宣言発出に伴う商業施設や観光施設の休業体制などから全体的に弱さがみられ、依然として厳しい状況にあることなどから、**「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。」**と判断いたしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





## 個人消費



(やや悪い)

### ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を下回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

#### 2021年4-6月期の個人消費関連

は、スーパー売上高は「全店ベース（前年同期比1.0%減）」で前年同期を下回りました。品目別では、「衣料品（同8.3%減）」、「食料品（同0.6%減）」、家電やドラッグを含む「家庭用品（同0.9%減）」と、全般的に伸びず、前年同期を下回りました。

【既存店ベース（2.8%減）】も、前年同期を下回りました。（以下、既存店ベース）品目別では、「衣料品（同3.2%減）」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大によるまん延防止等重点措置指定および緊急事態宣言発出による消費マインド低下に加え、臨時休業、時間短縮営業等もあり、前年同期を下回りました。また、「家庭用品（同4.7%減）」は、前年に定額給付金により伸びた反動減などから、前年同期を下回りました。ウエイトの高い「食料品（同2.4%減）」は、巣ごもり需要が落ち着いてきたことから、全般的に伸びず、前年同期を下回りました。

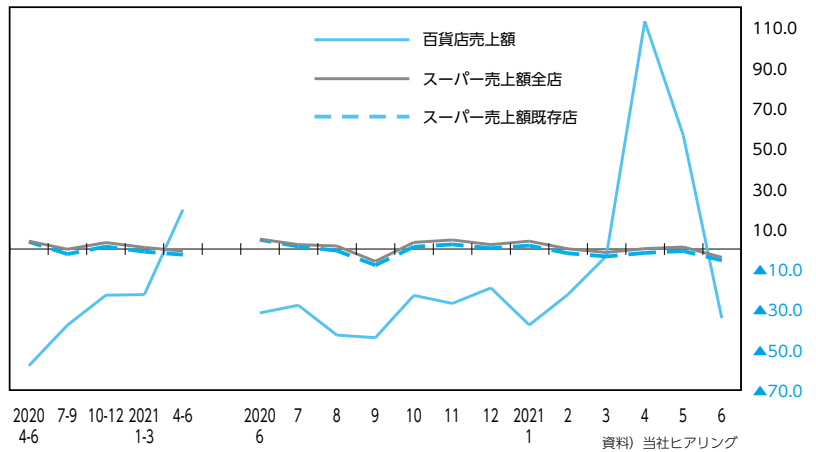
百貨店売上高は、前年に新型コロナウイルス感染症の影響拡大による休業要請により大きく落ち込んだ反動などから、前年同期を上回りました。（同19.5%増）。内訳をみると、「雑貨（同0.7%減）」は、緊急事態宣言発出による店舗の臨時休業などがあり、前年同期を下回りました。一方、ウエイトの高い「衣料品（同14.0%増）」は、外出自粛等による消費マインドの低下がみられたものの、前年に落ち込んだ反動から前年同期を上回りました。「食料品（同36.5%増）」は、前年に比べ来店客数が増加したことや、前倒しで開催したお中元ギフトが好調だったことなどから、前年同期を上回りました。

家電卸出荷額は、前年同期を下回りました（同7.3%減）。品目別では、「テレビ（同17.0%増）」、「VTR（同18.3%増）」は、前年に在庫不足により売上が落ち込んだ反動増があり、前年同期を上回りました。「洗濯機（同0.9%増）」も前年同期を上回りました。一方、「エアコン（同14.5%減）」、「冷蔵庫（同10.1%減）」は、前年に特別定額給付金支給による買い替え需要が増加した反動により、前年同期を下回りました。

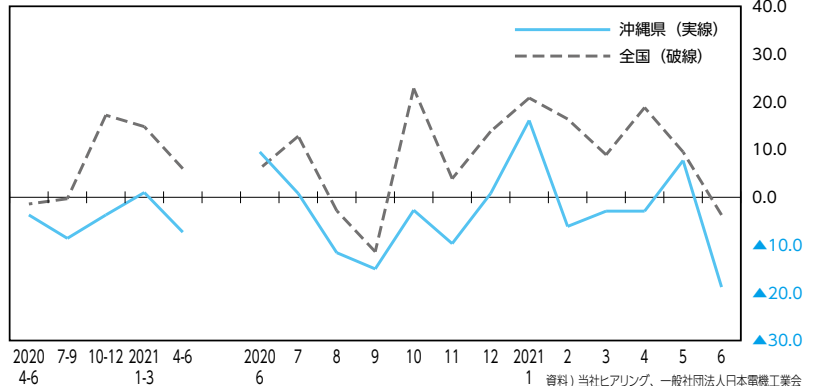
### ② 家電卸出荷額…特別定額給付金による買い替え需要の反動から、前年同期を下回る。

家電卸出荷額は、前年同期を下回りました（同7.3%減）。品目別では、「テレビ（同17.0%増）」、「VTR（同18.3%増）」は、前年に在庫不足により売上が落ち込んだ反動増があり、前年同期を上回りました。「洗濯機（同0.9%増）」も前年同期を上回りました。一方、「エアコン（同14.5%減）」、「冷蔵庫（同10.1%減）」は、前年に特別定額給付金支給による買い替え需要が増加した反動により、前年同期を下回りました。

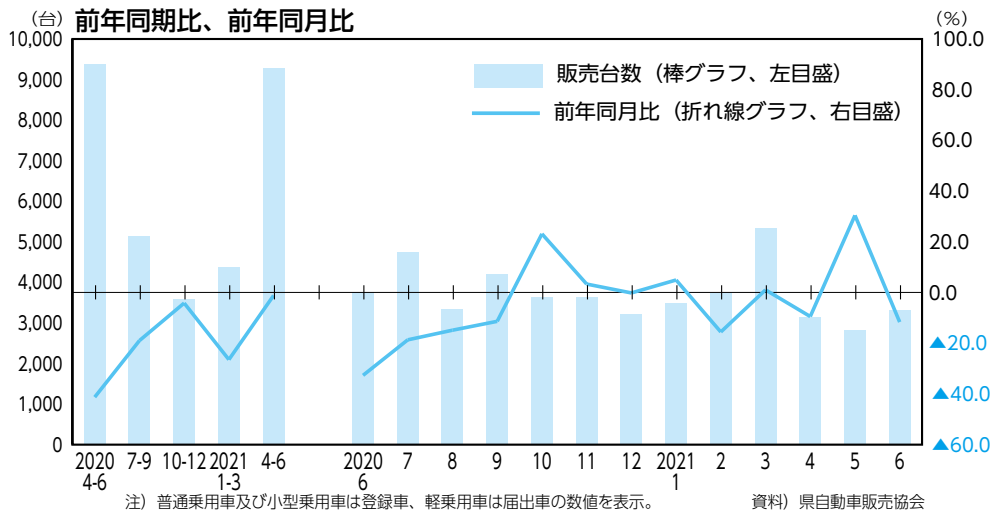
前年同期比、前年同月比



前年同期比、前年同月比



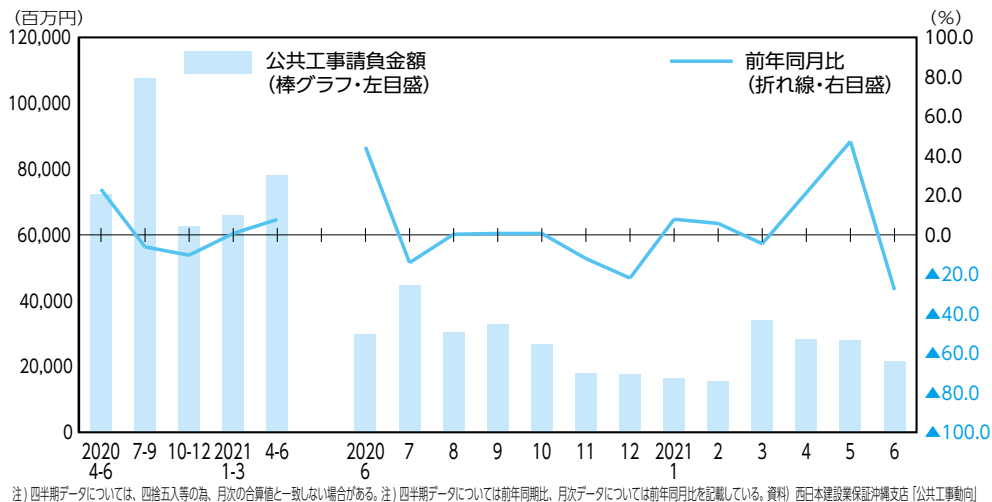
### ③ 新車販売台数…小型乗用車の需要減少により、前年同期を下回る。



**新車販売台数**は、全体で台 (同1.2%減) となり、前年同期を下回りました。車種別では、「普通乗用車 (同15.8%増)」、「軽乗用車 (同24.8%増)」は、自家用車需要が増加し、前年同期を上回りました。一方、「小型乗用車 (同46.3%減)」は、自家用車、レンタカー需要とともに減少し、前年同期を下回りました。  
 ※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

## 建設関連 (ぶつう)

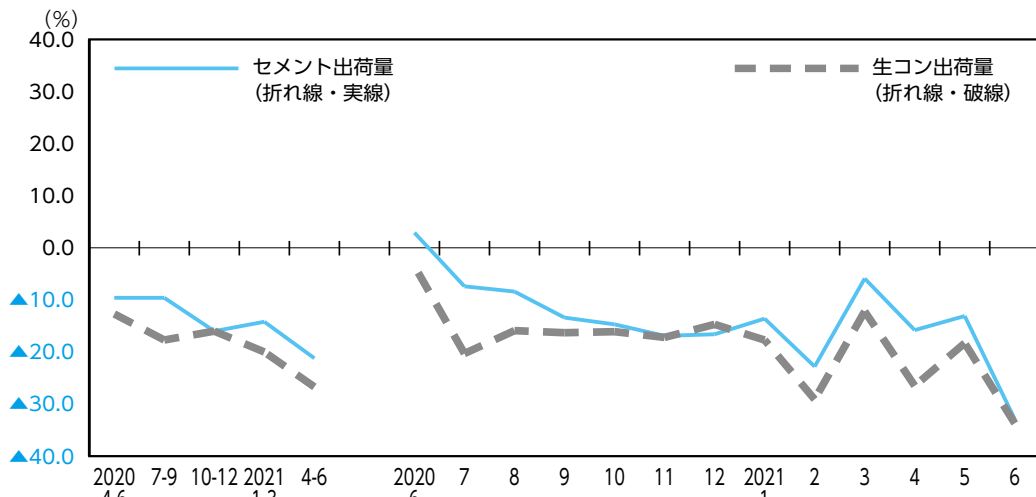
### ① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。



**2021年4-6月期の公共工事請負金額**は、前年同期比7.8%増の780億1,700万円となりました。発注者別でみると、「国 (同29.5%増)」や「独立行政法人等 (同46.5%増)」、「その他の公共的団体 (同21.9%増)」は前年同期を上回りました。一方で「市町村 (同5.5%減)」や「沖縄県 (同4.9%減)」は下回りました。



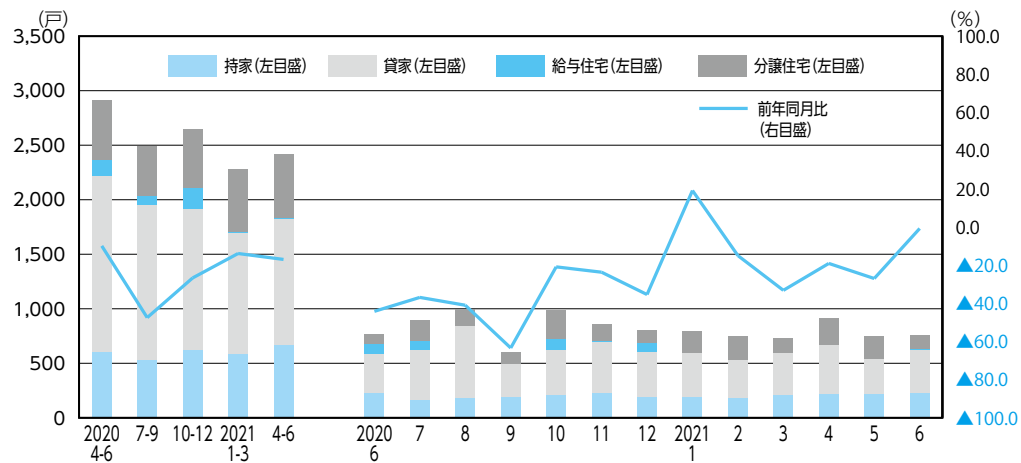
## ② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同期を下回る。



注) 四半期データについては前年同期比、月次データについては前年同月比を記載している。資料) 当社ヒアリング等による

**2021年4-6月期の建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は26.7%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は前年同期より23.3%下回り、民間工事向け出荷は28.1%下回りました。**セメント**出荷量は21.2%減と前年同期を下回りました。

## ③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を下回る。



注) 四半期データについては月次の合算値となっている。注) 四半期データについては前年同期比、月次データについては前年同月比を記載している。資料) 国土交通省「住宅着工統計」

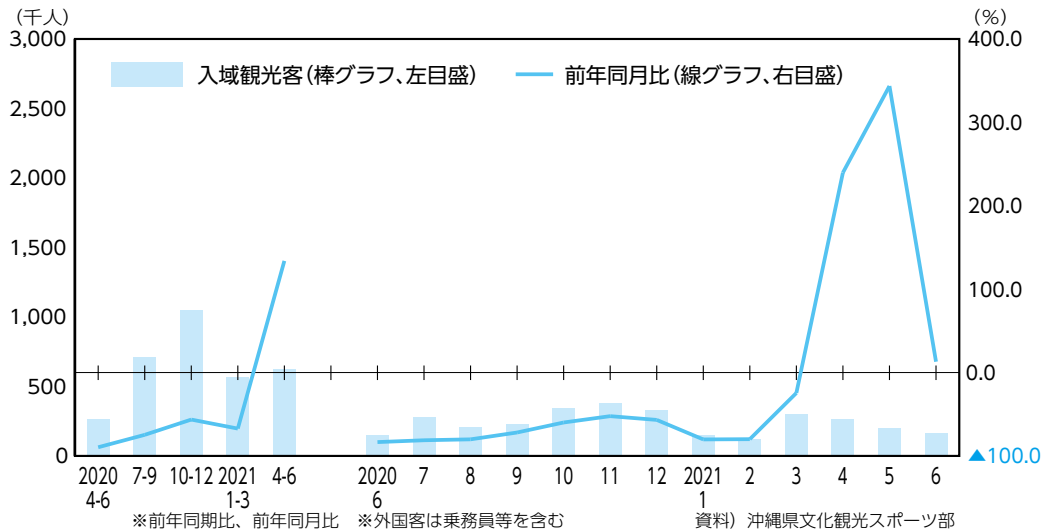
**2021年4-6月期の新設住宅着工戸数**は、全体で前年同期比17.0%減の2,418戸となりました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家 (同28.4%減)」のほか、「給与住宅 (同93.4%減)」は前年同期を下回りました。一方で、「持家 (同10.7%増)」や「分譲住宅 (同7.1%増)」は上回りました。

## 観光関連

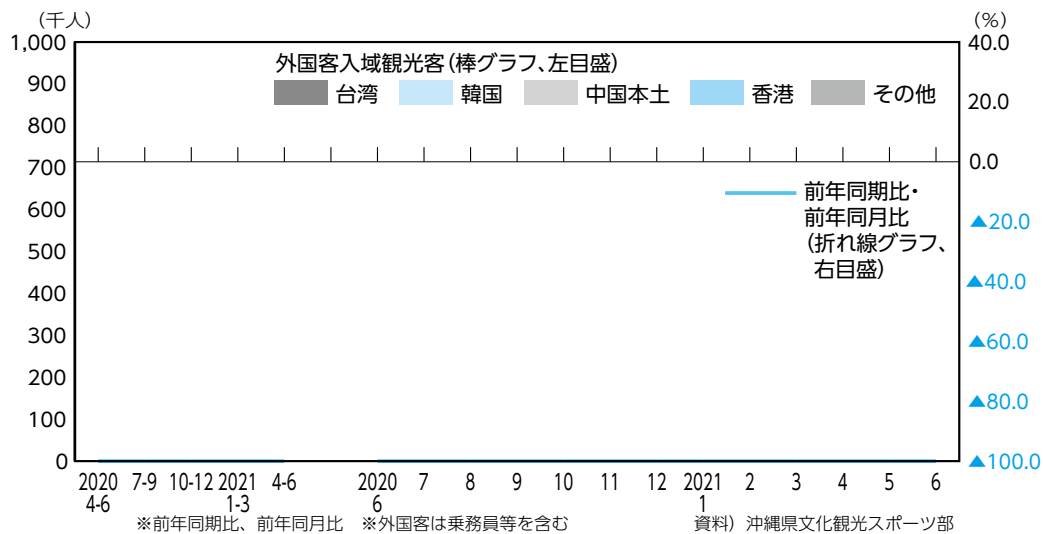


(悪い)

## ① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…6四半期連続ぶりに前年同期を上回る。



## 外国客 入域観光客数…前年同期同様、皆減。



2021年4-6月期の入域観光客数は、前年の航空便の運休・減便に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から国の緊急事態宣言や全国的な不要不急の旅行自粛の反動増から、全体として前年同期を133.9%上回りました。「国内客(同133.9%増)」においては、内訳では、東京方面(同136.9%増)や関西方面(同130.7%増)、名古屋方面(同229.8%増)、福岡方面(同107.9%増)などで前年同期を上回りました。

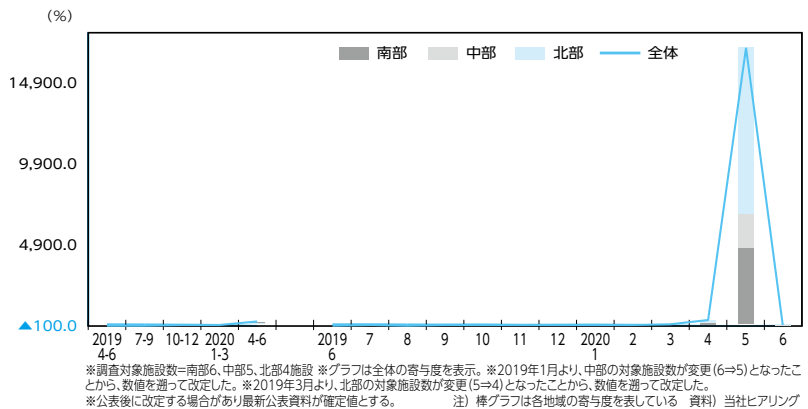
他方、「外国客(同100.0%減)」は、日本への入国制限措置の継続等により前年同期と同様、皆減となりました。

「中国本土(同100.0%減)」や「韓国(同100.0%減)」、「台湾(同100.0%減)」や「香港(同100.0%減)」となりました。



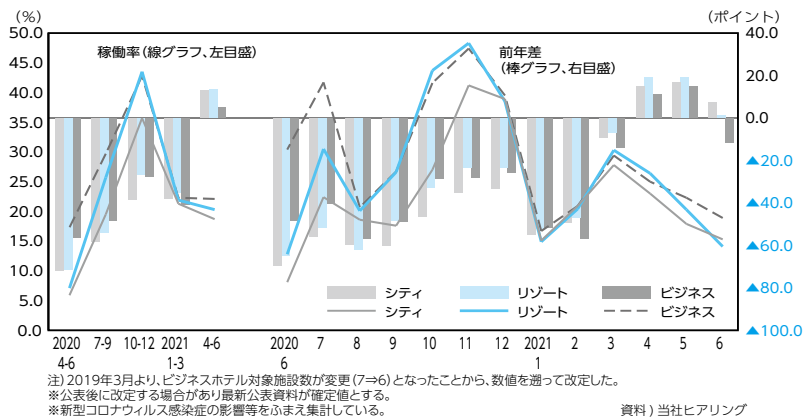
## ② 観光施設入場者数…各地域において前年同期を上回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同期より142.75%増加しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同41.1%増、中部は同19.8%増、北部は同81.8%増とすべての地域において前年同期を上回りました。



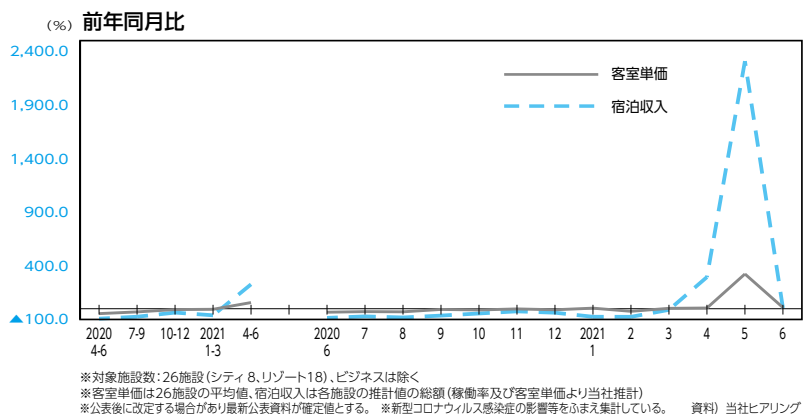
## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を上回る。

2021年4-6月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが18.7%と前年同期差12.8ポイント上昇、リゾートホテルが20.3%と同13.2ポイント上昇、ビジネスホテルが22.1%と同4.8ポイント上昇しました。



## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価、宿泊収入前年同期を上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同期比57.4%増、宿泊収入も同227.3%増と前年同期を上回りました。





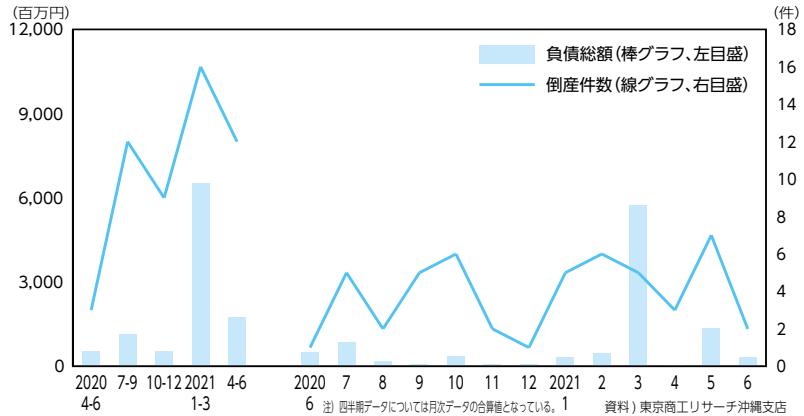
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を上回る。

**2021年4-6月期の企業倒産件数**は、12件（うち大型倒産（負債総額10億円以上）はなし、大口倒産（負債総額1億円以上10億円未満）は6件）となり、前年同期より300.0%上回りました。**負債総額**は17億3,300万円となり、前年同期を233.3%下回りました。



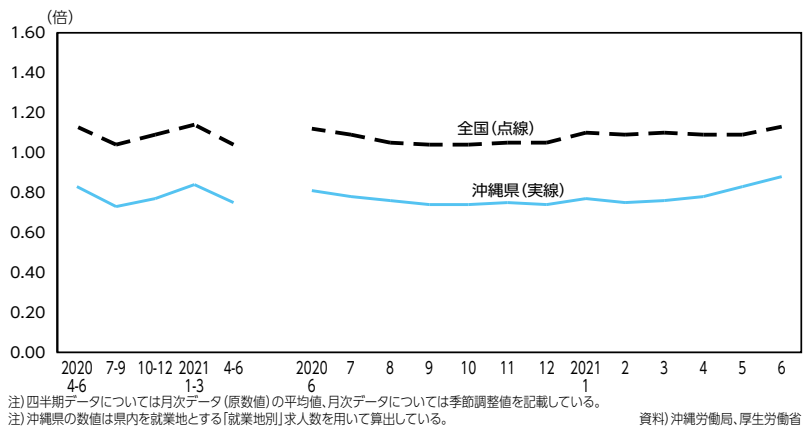
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前年同期より低下。

**2021年4-6月期の雇用状況**は、有効求人数（四半期平均）は前年同期比1.7%減の23,117人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比9.0%増の30,802人となり、有効求人倍率（同上）は0.75倍となり前年同期より0.08ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄県、全国はともに前年同期より上昇。

**2021年4-6月期の完全失業率 (原数値平均)**は、3.8%となり前年同期より0.3ポイント上昇しました。

